



Zoomで参加!

夏休み

オンライン親子クッキング

株式会社シーサットさんのご協力の元、8月3日(火)にオンライン親子クッキングが開催されました。その当日の様子をお届けします♪

オンライン親子クッキングってなあに?

今回が初の試みとなるオンライン親子クッキング。昨年から、新型コロナウイルスの影響により、組合員さんの学習の場、メーカーさんとの交流の場であったセミナーや学習会の中止が相次ぎ、従来の交流ができないという状況が続きました。そこで、オンラインの活用を進められないかと試行錯誤し、株式会社シーサットさんのご協力の元、実施したものです。

今回参加されたのは、5組のご家族。Web会議システムのZoomを使用して、ご自宅からご参加いただきました。自家製サケフレークを使った「ゴマ香る鮭チャーハンドームライスに何仕込む?」をみんなで一緒に作りました。

藤田宗三さん
当日の講師
株シーサット営業部



レシピ紹介

ゴマ香る鮭チャーハン ドームライスに何仕込む?



今回使用した商品はこちら



北海道産
秋鮭切身 (甘塩味)
宅配予定
10月3回

材料(4人分)

北海道産秋鮭切身(甘塩味):4切/温かいご飯:お茶碗4杯分/ごま油:大さじ4/中に仕込む具材お好みで:ミニトマト、うずらの卵、黒ゴマ、お菓子など

作り方

★自家製サケフレーク

- 鮭を冷凍庫から取り出し、凍った袋のまま電子レンジ500wで解凍する。(解凍方法はコツ・ポイントでご紹介!)
- フライパンにクッキングシートを敷き、鮭を並べて中火で焼く。
- 熱の通りを確かめながら裏返し、30秒経ったらお皿に取り上げる。
- 皮と骨を取り除いたら中火の弱火で鮭の身をから煎りし、水分を飛ばし完成。

コツ・ポイント

鮭をふくらさせるコツは、十分な解凍と控えめな加熱!



解凍

●袋のまま電子レンジへ ●表面500w1分、裏面500w1分

加熱

●フライパンにクッキングシートを敷き、シートを持ち上げて90度ずつ回しながら加熱する。

●片面をしっかりと焼き、表面に肉汁が出てきたら鮭をひっくり返す。

●ひっくり返すのは1回のみ

親子の食育の場を大切に

「参加者の皆さんに伝えたかったのは、子どもの食事を親が手伝いすぎないということ。自分で骨を取って食べることで危険を見つけることが大切」と話す藤田さん。「子どものことが心配だから親御さんが骨を全部取つてあげる、骨取りの魚で調理する、といふことを最近よく聞きますが、子どもたちの食育のために、わざと骨を残すなどのハザードを作り、自分で骨を取るという経験をさせることも大事だと考えています。食べるという行為は、異物を体に入れるということで実は注意力も必要な行為です。最近は、あまり噛まなくて飲み込める食事が多いように思いますし、例えば、よく噛まなかつたせいで魚の骨に気づかずに入み込んでしまうのは怖いことだと思いますが、かくよく噛んで、口の中の違和感に気づき、骨を取り出すことが大切です。自身を守るためにも骨がある魚を調理して食べ、口の中でも骨を確認し、しっかり噛みながら、おいしさも味わうことを幼い頃から習慣づけてほしいです。



子どもは、鮭を手で触って温度を確認するのが怖くて出来ずには泣いてしまいましたが、無事に完成して良かつたです。

調理のコツを学ぶことができました

(山本裕美さん 小学2年生のお子さん)

工場見学では、手作業の部分が多くて驚きました。シンプルな材料で、きちんと丁寧に作られていることが分かつてよかったです。サケフレークは、解凍や焼き方のちょっととしたコツで味や食感がガラッと変わることにびっくりしました。クッキングシートを使うと、あとで調理で余熱を使うことができるというのが目から鱗でした。



きょうだいが力を合わせて

(毎田惠美さん 小学6年、4年、2年生のお子さん)

双方向のオンラインでの料理教室は初めてでしたが、料理方法も見やすくて、子どもだけで作ることができます。コロナ禍で我慢する生活が続いているが、オンラインで様々なことを体験出来るようになったのは、良いことだなと思っていました。コロナが落ち着いたら、実際に工場見学に行つてみたいです!

参加された方々より



この他にもカタログ「ここくる」で人気の商品はコレ!



宅配予定
10月2回



宅配予定
10月4回



すぐに使って、簡単おいしい!

